

## 令和7年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 30

千葉県立船橋芝山高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 期待する生徒像

人物が優れ、本校を志願する動機・理由が適切であり、能力及び適性を持ち、かつ、次のア及びイの要件を十分に備える生徒

ア 主体的に学習に取り組むことができ、学業成績が優秀であること。

イ 生徒会活動・部活動等において積極的に取り組んできており、さらにその力を伸ばす意志があること。

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：一組あたり10分程度

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

#### (2) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。全学年の計が6以下の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	役職や活動実績、資格等の記述については加点（上限50点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔12点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。2名の評価者が、すべての評価項目でc評価とした場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機等	志望の動機が明確である。
イ 高校生活に対する意欲等	高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
ウ 質問に対する態度・応答	服装・頭髪等身だしなみが整えられており、基本的な面接作法が身に付いている。 質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	
500点	135点	50点	12点	697点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。